

Column

子連れ出張・子連れ懇親会

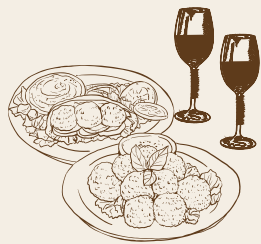
米澤 千夏
農学研究科
資源生物科学専攻
准教授

保育園児と平日は二人で生活している。保育所さえ決まれば通常の勤務時間内での仕事はなんとかなる。問題は出張と懇親会である。

出張は取捨選択しているが、それでも全く仙台から出ないわけにもいかない。学会には連れていくことが多い。口頭発表を聞きたい場合、ipadにイヤホンをつけて子供に渡すとおとなしく見ている。たまに突然笑い出すことがあり、慌てることがあるが。場合によっては一時預かりができる保育園を探す。ベビーシッターにきてもらったこともある。全国保育サービス協会加盟会社リスト等を参考にしている。TUMUG支援事業には大変助けられている。

懇親会は業務ではないので出なくてもよい、という考え方もできるが、子供の面倒をみなくてもよい、もしくはみってくれる人がいる教員同様、学生や同僚との雑談の時間が少しあってよいと思う。そうすると子連れ参加ということになる。ただし、遅くならないようにする、アルコールは飲まない(ほとんど飲めないが)ようにはしている。他の参加者が大目みしてくれている、子供も美味しいものを食べることができて喜んでくれることは有難い。

眉をひそめるむきもあるかもしれないが、問題といつづも、なんとかなっている。



Activities

センター関係者による学内外での活動状況

(2016年1月~5月)

- 大隅 典子(副センター長)
 - 2月1日 農学研究科FD講演会「男女共同参画について」講演
 - 2月23日 多元物質科学研究所「女性研究者採用加速に向けたセミナー」パネリストとして参加
 - 3月28日 第121回日本解剖学会総会 男女共同参画推進ランチョンセミナー「男女共同参画の現状と今後」講演
- 田中 真美(副センター長)
 - 2月8日 岩手大学「いわての復興に貢献する女性研究者支援」支援プログラム外部評価委員会委員長として参加
 - 4月5日 工学研究科等新規採用等教職員合同研修にて講演

News!

栗原和枝教授に「東北大学リサーチプロフェッサー」の称号を付与

この度、栗原和枝教授(多元物質科学研究所)に平成28年4月1日付けで「東北大学リサーチプロフェッサー」の称号が付与されました。



リサーチプロフェッサー制度は、専門分野において高い研究業績を有し、かつ一定規模以上のプロジェクトの代表者やプロジェクトにおいて中心的な役割を担う教授に対し、その活動をサポートするものです。リサーチプロフェッサーの称号を付与された教授の活躍は、本学の他の教員の励みとなり、本学における研究の一層の推進及び今後の人類社会の発展に貢献するものと期待されます。

Information

第3回(平成28年度)澤柳政太郎記念東北大学男女共同参画賞 募集

アカデミアにおける男女共同参画の先駆者として各分野で活躍し多大な貢献をされた方々を顕彰するために創立された澤柳政太郎記念東北大学男女共同参画賞受賞者を募集します。本賞は、「門戸開放」という理念のもとに1913年(大正2年)に全国に先駆けて帝国大学の門戸を女性に開いた当時の初代総長の名前にちなんでいます。

【募集締切】 平成28年7月29日
【受賞課題発表】 平成28年9月22日

お問い合わせ先/
総務企画部総務課総務係(TEL 022-217-4811)
●東北大学男女共同参画委員会ホームページに募集要項を掲載しています。



「職員相談室」のご紹介

片平キャンパスに本学の職員を対象とした「職員相談室」があります。職員相談室には3名の専任相談員が常駐し、職場の人間関係や健康などさまざまなことに関する質問・相談に応じています。本学の職員であれば誰でも利用でき、相談内容は厳密に守られます。なお、健康上のことに関しては産業医と連携しています。

また、職員相談室は「ハラスメント全学職員相談窓口」も兼ねておりますので、部局のハラスメント相談窓口とあわせて利用しやすいところをご自身で選択できます。

お問い合わせ先/職員相談室/ハラスメント全学職員相談窓口
TEL:022-217-4967 E-mail:soudan@grp.tohoku.ac.jp
●子育て・介護との両立支援や男女共同参画に関する事項につきましては、下記男女共同参画推進センター(TUMUG)まで電話・メールにてお問い合わせください。



「TUMUG」とは「Tohoku University(東北大学)」「Movement(運動、活動)」「United(団結、協力)」「Gender(ジェンダー、男女)」からなる頭字語(アクロニム)。東北大学が「紡ぐ」男女共同参画の取組が、ムーブメントとして広がっていくことを目指しています。



平成28年度 東北大学サイエンス・エンジェル活動準備会(片平地区)

- 01 ▶ 男女共同・協働の実現に向けて
▶ 「ジェンダーと人間社会」開講2年目
- 02 ▶ 女性研究者の集い
▶ 女子大学院生を対象にした賞
- 03 ▶ 平成28年度
東北大学サイエンス・エンジェル(SA)の活動
▶ 学内での動き
- 04 ▶ コラム:米澤 千夏准教授

男女共同・協働の実現に向けて



東北大学では第三期中期目標・中期計画(平成28~33年度)が策定され、ジェンダーバランス等に配慮した多様な教員構成の確保(No.9)、優れた女性研究者等の積極的登用(No.28)等が計画されています。特に、大学を支える人材の確保・活用を図ることが可能な人事システム構築という目標達成に向けては、次の男女共同・協働の実現(No.60)に関する計画が立てられています。

次世代の学生の教育を担う機関として男女共同・協働を実現するため、「東北大学における男女共同参画推進のための行動指針」に基づく総合的・計画的な取組を推進し、第3期中期目標期間中に、女性教員比率を19%に引き上げることを目指した採用等の取組及び管理職等(課長補佐級以上)の女性職員比率を15%に引き上げることを目指した育成等の取組を強化する。

「ジェンダーと人間社会」開講2年目

昨年度より、全学教育科目(基幹科目)として「ジェンダーと人間社会」(前・後期とも木曜2講時)を開講しています。受講生が現代社会のジェンダーをめぐる課題に関して認識を高めることを狙って、10名の教員が協力して様々なテーマで講義を行い、ジェンダーに関する多様な見方を紹介しています。なお、平成27年度は、前期(文法教理医農)51名、後期(経保歯薬工農)151名が単位を取得しました。今年度、前期は134名が受講中です。本科目は、東北大学グローバルリーダー育成プログラム指定科目となっています。



講義の様子

担当教員
大隅典子(副センター長)、
三隅多恵子(法学研究科附属法政実務教育研究センター講師)、
保坂雅子(助教)

東北大学男女共同参画推進センター
Tohoku University Center for Gender Equality Promotion

TEL 022-217-6092

〒980-8577 宮城県仙台市青葉区片平2-1-1
E-mail tumug@morihime.tohoku.ac.jp
HP www.morihime.tohoku.ac.jp

HP facebook



女性研究者の集い



本センターでは、女性研究者が集まり、人脈を広げるため異なるタイプの機会を提供しています。

人物ならびに学識においてすぐれた女性教授である「沢柳フェロー」を囲んで全学の女性研究者が集う「沢柳フェロー・ランチミーティング」では、フェローに若手女性研究者のメンター・ロールモデルとしての役割を積極的に果たしていただいています。

また、教職員および学生・大学院生が男女を問わず子育てに関する情報や意見を気楽に共有できる場として、ランチタイムにTUMUG Caféを開催しています。

他に、着任5年以内の女性研究者が研究内容および研究成果を学内で発信する場として、TUMUG Forum (女性研究者による研究発表・交流会)も開催しています。

TUMUG CaféとTUMUG Forumは男性の参加も歓迎しています。

沢柳フェロー・ランチミーティング

平成28年度 第1回 5月25日実施/参加者25名



参加した沢柳フェロー (左から、所属部局省略)
磯貝 恵美子教授
杉本 亜砂子教授
中山 啓子教授
田中 真美教授
大隅 典子教授

新任女性教員を迎え、沢柳フェロー5名を含む25名が集いました。フェローを代表し、杉本亜砂子教授(生命科学研究所)から生命科学研究所の女性教員の現状報告と自信を持って挑戦することの大切さについてアドバイスをいただきました。その後、軽食を取りながら思い思いに情報交換しました。

第2回開催予定 9月頃

TUMUG Forum

第2回 女性研究者による研究発表・交流会

発表者募集

本年度は10月の開催を予定しております。発表する女性研究者の方を募集します。



対象: 着任5年以内の女性研究者
講演内容: ご自身の研究内容について
講演時間: 15分
締切日: 7月20日(水)
応募方法: 巻末記載の本センター連絡先まで、お電話かメールにてご応募ください。

女子大学院生を対象にした賞

医学系研究科

東北大学大学院

医学系研究科女子大学院生奨励賞(七星賞)~NANASE Award~



最優秀者... 櫻井美奈子(病理診断学分野)
受賞... 神林由美(皮膚科学分野)
受賞... 石木愛子(老年医学分野) 敬称略

第1回受賞者3名が決定し、5月21日に授賞式・受賞記念講演が長岡同窓会総会で行われました。七星賞は、優秀な女子大学院生が自信を持ち、諦めることなく研究者キャリアの道を歩むことを奨励して設置されました。

理学研究科

黒田チ力賞

胡 素夢(化学専攻 博士課程後期3年)
増野いづみ(地学専攻 博士課程後期2年)
藤原佐知子(生命科学研究所 博士課程後期3年) 敬称略

理学研究科・理学部の同窓会である青葉理学振興会では、1999年以来、優れた研究業績を上げた理学研究科・生命科学研究所の博士課程後期の女子学生数名を選び、顕彰しています。平成27年度は3名が受賞しました。

学内での動き

2月から3月にかけて、各部局では女性教員の採用や健康等、男女共同参画に関する講演会やセミナーなど様々なイベントが行われました。その一部をご紹介します。

星陵地区

▶ 歯学研究科 男女共同参画フォーラム
2月26日実施

▶ 第6回東北大学病院からだの教室
「産科医と話そう
パートナーの妊娠と出産 男のホンネ」
~OTOKO☆NIGHT~
3月2日実施



会場では、男性のみの環境だからこそ聞ける妊娠・出産にまつわる質問や、夫婦関係についての率直な意見が飛び交いました。

▶ 星陵地区男女共同参画ネットワークセミナー
「女性教員と学ぶ医学」
3月4日実施

多元物質科学研究所

▶ 女性研究者採用加速に向けたセミナー
2月23日実施

▶ 第4回多元研男女共同参画推進セミナー
3月23日実施
男女共同参画推進センター共催



韓国ソウル大学校教授Hee Young Paik氏に、性差やジェンダーに関する知見を研究に生かすことでイノベーションと発見に役立てようという考え方に立つGendered Innovationの研究推進についてご講演いただきました。

総合技術部

▶ 東北大学総合技術特別講演
~男女ともに活躍するために~
3月7日実施



平成28年度 東北大学サイエンス・エンジェル(SA)の活動



東北大学では「男女共同参画推進のための行動指針」にある「次世代育成」に基づき、自然科学系女子大学院生を対象とした東北大学サイエンス・エンジェル(SA)制度を設けています。SAは、次世代のロールモデルとして、小中高生やその保護者・教師、特に理系進学に興味を持つ女子中高生に対して、科学の魅力と研究のおもしろさを伝える活動を行っています。平成28年度は、61名のSAが任命され、6月に実施されたオリエンテーションおよび活動準備会に参加しました。

SAの主な活動

体験型科学イベント



仙台市内で開催される科学イベント等に出席して、科学を身近に感じてもらえるようなわかりやすい実験や工作を行います。

出張セミナー



主に高校生を対象に、自然科学系分野での研究や大学生活について体験に基づいて話をします。

オープンキャンパス for 女子高校生



東北大学に興味がある女子高校生を対象に、講演およびグループトークを若手女性研究者とともに行い、大学での学習や学生生活、研究のおもしろさを伝え、高校生の疑問・悩み・相談にお答えします。



今後の活動予定

日	内容	会場
7月 17日	学都「仙台・宮城」サイエンスデイ2016	カタールサイエンスキャンパスホール
27日-28日	オープンキャンパスfor女子高校生2016	理学研究科合同A棟2F
8月 6日-7日	2016夏休みサイエンススクエア	国立科学博物館
23日	楽しい理科のはなし	東京エレクトロンホール宮城
11月 3日-6日	サイエンスアゴラ2016	日本科学未来館他
秋~冬	中学・高校での出張セミナー多数	